



加藤 陽子 (KATO Yoko)

東京大学大学院人文社会系研究科 教授

東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。
博士 (文学)。

山梨大学教育学部助教授、東京大学大学院人文社会系研究科准教授などを経て、2009 年より現職。

専門は日本近代史で、1930 年代の外交と軍事、近代日本の天皇と天皇制などについて研究している。

主な著作に『模索する 1930 年代 日米関係と陸軍中堅層』(山川出版社、2012 年)、『満州事変から日中戦争へ』(岩波書店、2007 年)、『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』(朝日出版社、2009 年、小林秀雄賞受賞)、『昭和天皇と戦争の世紀』(講談社、2011 年)、『戦争まで』(朝日出版社、2016 年、紀伊國屋じんぶん大賞受賞) などがある。